

令和5年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	地理総合	学 年	第 1 学年	学 科 類 型	普通科
単位数	2 単位	教科書	高等学校新地理総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院）				
副教材	高等学校新地理総合ノート（帝国書院）・新編フォトグラフィア地理図説2022（とうほう）						

学習目標	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養います。
------	--

キャリア教育の視点	地理的なものの見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付けます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1部	世界地図を通して、方位、時差などについて学びます。また、それらを可能にするGISについて学びます。 国家の三要素、国家間の結びつきやグローバル化について学びます。	中間考査
	5月	第1章 地図と地理情報システム		
	6月	第2章 結びつきを深める現代世界		期末考査
	7月			
2 学 期	8月	第2部	世界の地形や気候、言語や宗教に加えて、世界の産業を学び、人々の歴史的背景が生活に与える影響を学びます。	中間考査
	9月	第1章 生活文化の多様化と国際理解		
	10月			期末考査
	11月			
	12月			
3 学 期	1月	第3部	日本の自然災害と防災について学習します。 現地調査の方法を学び、フィールドワークを実施します。	学年末考査
	2月	第1章 自然環境と防災		
	3月	第2章 生活圏の調査と地域の展望		

学習の方法	教科書と地図帳を中心に、副教材を活用して授業を展開します。 地図帳や地球儀を使うことで空間的な認識を深めるとともに、グラフや図表を活用して地理的なものの見方や考え方を身に付けていきます。
-------	---

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題への取組、提出物の状況、授業に取り組む姿勢などで評価します。
-------	--

備考	
----	--

